

行政評価シート（事務事業評価）			評価年度	3年度
事業名	職員研修事業	担当課	秘書人事課	
事業内容（簡潔に）	計画的な職員研修を実施し、職員の能力開発を推進する			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	市民が主役の持続可能なまちづくり		
	政策	効率的・効果的・柔軟で計画的な行政運営		
	施策	適正な職員配置と人材育成		
関連する個別計画等	人材育成基本方針	根拠条例等	韮崎市職員研修規程	

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	人材育成 職員の政策形成能力、法務能力等の職員の専門知識及び事務能力の向上
事業の手段	計画的体系的な研修の実施 *研修種別（内容） ①山梨県市町村職員研修センター：初任者・階層別・能力開発研修など ②市町村職員中央研修所・国際文化アカデミー：短期集中型（4～10日）の専門研修 ③自治大学校：長期型の専門研修 ④市役所内部研修：メンタルヘルス・人事評価 その他必要に応じた研修 ⑤自主研修（日本経営協会等）：専門実務研修、先進地視察研修等 ⑥研修派遣・交流派遣：山梨県や後期高齢者医療広域連合へ研修派遣及び人事交流派遣 ⑦海外派遣 ⑧早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会
事業の対象	市職員（会計年度任用職員含む）

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
A	事業費 (千円)	3,787	6,129	2,156
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)	51	97	5
	一般財源	3,736	6,032	2,151
B	担当職員数(職員E) (人)	0.15	0.15	0.15
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	1,099	1,007	986
D	総事業費(A+C) (千円)	4,886	7,136	3,142
主な事業費用の説明	研修負担金、旅費等（アカデミー等は、市町村振興協会補助金 2/3 の対象） 令和元年度：海外（チェコ・オーストリア）での農業・福祉分野の先進地視察研修 令和2年度：新型コロナウイルスの感染防止による各種研修の中止			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 庁内研修受講者数 (実施回数)	市役所内部研修 (人、回)	408 (5回)	160 (4回)	54 (2回)
	2 職員研修受講者数 (市町村職員研修センター)	市町村職員研修センター (人)	129	117	148
	3 その他研修受講者数	中央研修所、国際アカデミー、自治大学、その他各種民間研修 (人)	64	112	36
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	市職員全体が受講することができる内容の研修を実施することにより、職務能力や仕事への意欲の向上が図られている。			
	2	市立病院勤務の医師、看護師等及び学校勤務の調理師等は、個別に研修を実施しているため、対象職員から除き、各職位能力に応じた研修を実施し、その能力の向上に努めている。			
	3	中央研修所等の高度な内容の研修に職員を派遣し、人材育成に努めている。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1 受講率 (庁内研修)	参加率 (%) (研修参加人数/対象者数)	59.0 (408/692)	34.0 (160/470)	88.5 (54/61)
	2 研修修了率 (研修センター)	修了者数/推薦者数 (%)	77.2 (129/167)	73.6 (117/159)	88.1 (148/168)
	3 研修受講率 (自主研修等)	受講者数/職員数 (%)	26.2 (64/244)	47.0 (112/238)	15.0 (36/239)

成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている	<input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている	<input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	庁内研修の参加率については、人事評価制度や都度の法改正等の研修を行う中で、職員の能力向上に向けた積極性を図る事が出来る。研修内容等により対象者も異なり、業務時間内の研修もあるため、業務上参加できない場合もあるが、その参加率は、年度によりばらつきがあり、平均すると概ね60%を超えている。		
	2	自治研修センターの修了率については、主に昇格時の職員が階層に応じた課題解決など行う研修となり、100%の修了率を成果指標とした。しかし、業務上参加できない場合もあるため、その修了率は、平均して80%前後の数値で推移している。		
	3	自主研修等の受講率については、現在の職種はもとより、その他プラスアルファの知識や能力の向上に対する積極性を図ることができる。令和元年度は対象職員の約半数近い参加率となったが、令和2年度については、研修自体が開催されなかった為、受講率が低かった。		

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成	<input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成	<input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	------------------------------------	-------------------------------------	---

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)
---------	--

事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	令和3年度の改善計画 (今後の事業展開説明)		

- ・ 庁内研修については、職場や業務内容等のニーズを踏まえる中で、幅広い年齢層の人材育成に繋がる研修を開催できるよう努める。
- ・ 研修センターでの階層研修受講については、研修計画に沿って、早めに周知を図ることで、職場の調整がしやすい環境に努める。
- ・ 自主研修等の受講については、職員が積極的に自己啓発の研修に参加できるよう、更に、今年度より施行した「韮崎市職員自己啓発助成実施規程」の周知も含め、インフォメーション等で4半期ごとに周知を行う

過去の改善経過	改善の経過	令和元年度～ 早稲田大学マニフェスト研究所 人材マネジメント部会参加 令和3年度～ 「韮崎市職員自己啓発助成実施規程」施行		
---------	-------	--	--	--

過去の改善経過	直近の評価経過	内部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大	—	<input checked="" type="checkbox"/> 一部改善	<input type="checkbox"/> 全部改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		外部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 一部改善	<input type="checkbox"/> 全部改善	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
	改善案	社会情勢や市民ニーズに即した課題解決や実践型の研修、海外研修、国際文化アカデミーなど多種多様な研修について、公共団体はもとより、民間開催の研修等についても広く情報提供を行う。人事評価制度等によって把握した個々の特性や職責に応じた研修への参加を促し、本人の意識改革と資質向上を目指す。また、研修への参加については、対象者への周知はもとより、その上司へ周知するなど研修に参加しやすい環境の整備に努める。							

課長所見	社会状況が日々変化する中、的確な市民ニーズへの対応が必要となるため、職員資質のレベルアップと個々の能力開発に向けた研修内容を行っていく必要がある。また、コロナ禍においても、庁内研修が行えるよう、オンラインセミナーなどの開催の検討や自主研修においてもオンラインセミナー対応の研修会の周知を図っていくことが必要である。
------	---